

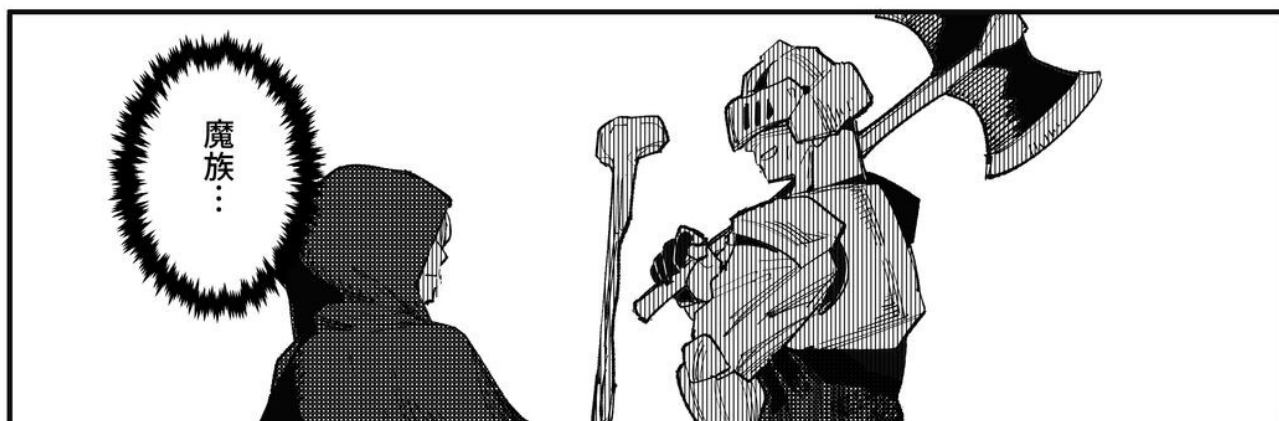
刻まれる降伏文書
～調教済みの幼い子宮に～

精 隷牢獄

二エーヒル

Immoralist







巨大な体と
同じほどに
巨大な頭

嗜虐的な
腐った吐息

胎を押しつぶす
凶悪な形のペニス

シヤ
ラ
シヤ
ラ

鎖の
冷たい縛め

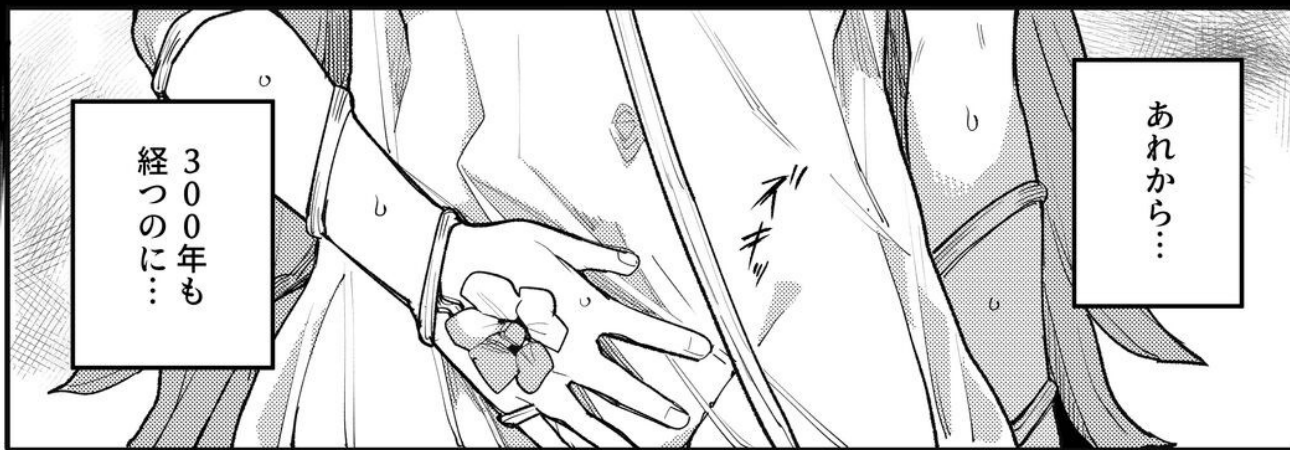
思い知らされる
女の非力さ

そして…



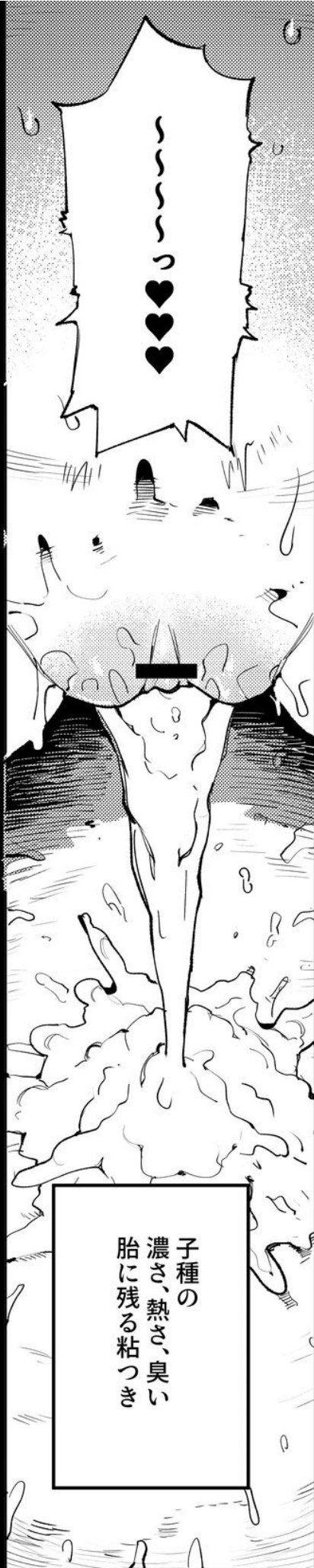
あれから…

300年も
経つのに…





邪悪な
媚薬による
屈辱的な発情



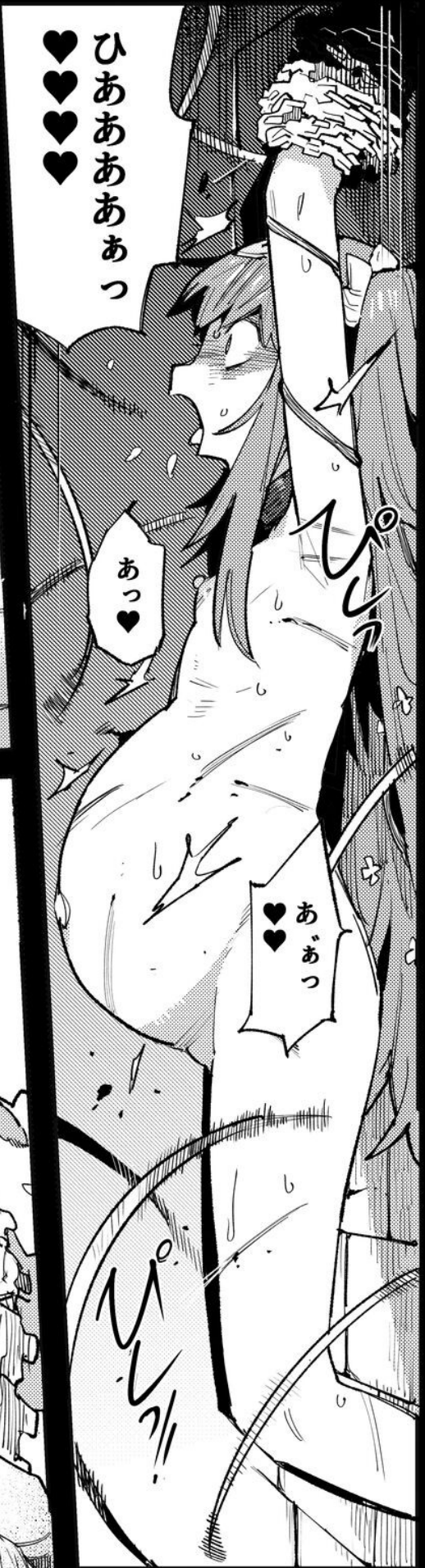


胎に詰め込まれた
精液を排泄する
ことすら許されず



ひにゃああああ
ああっ

面白半分に
絶頂させられ
続ける



ひあああああ
あぁあ

あぁあ



ひぎゃあああああつ
——♡♡♡

魔山の溶岩で
熱された呪詛を
刻まれた



私はガ＝グと
その子らの性奴隷兼
繁殖家畜です

あ…

う…
♡

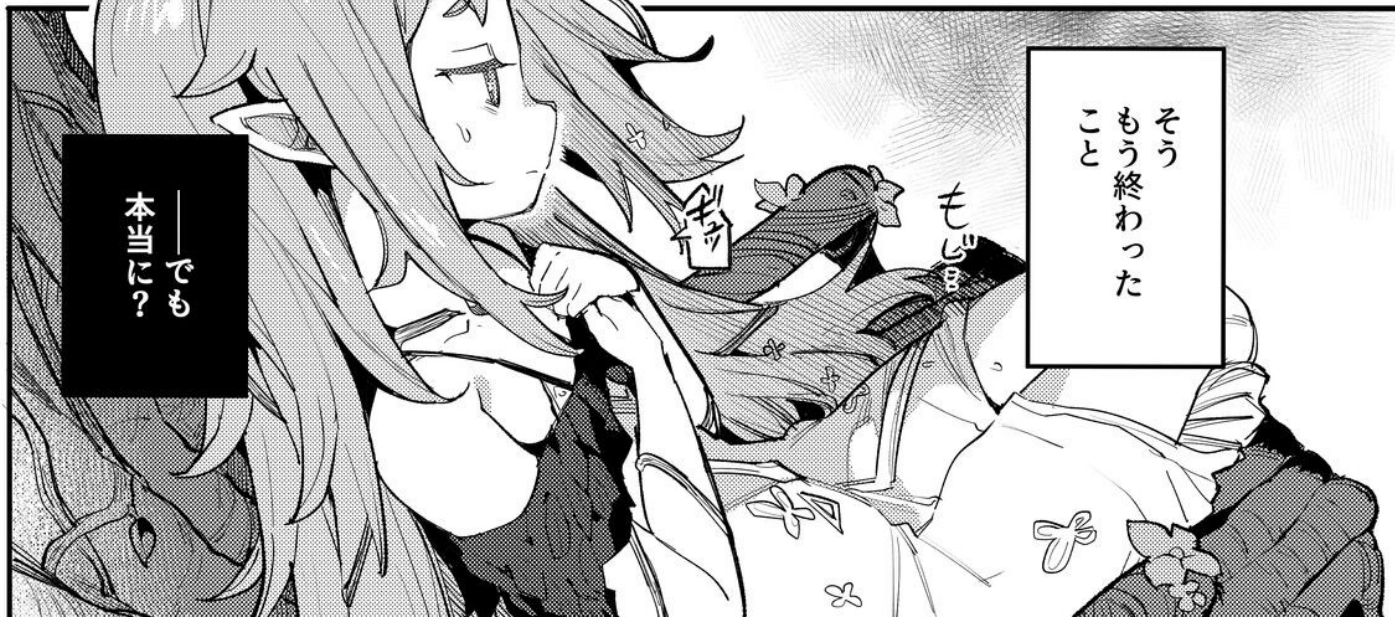


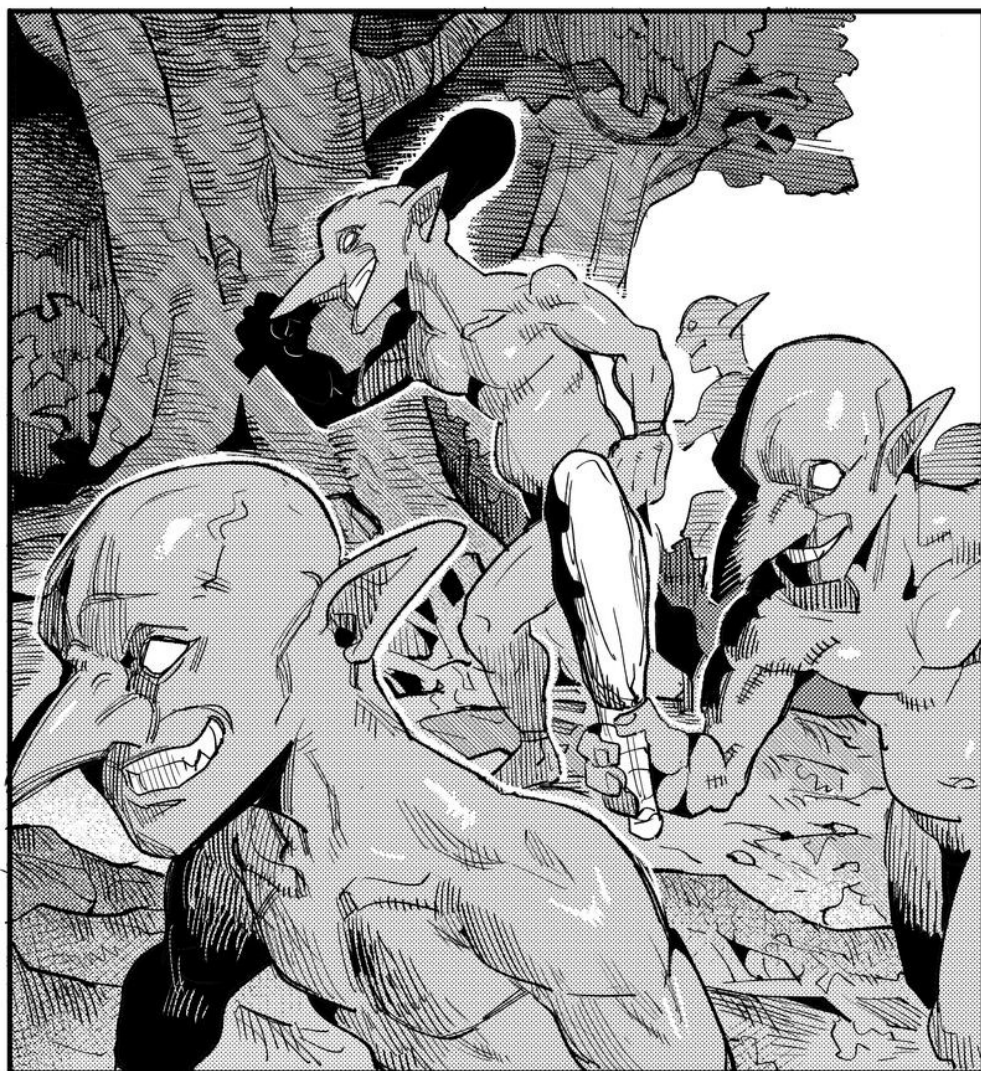
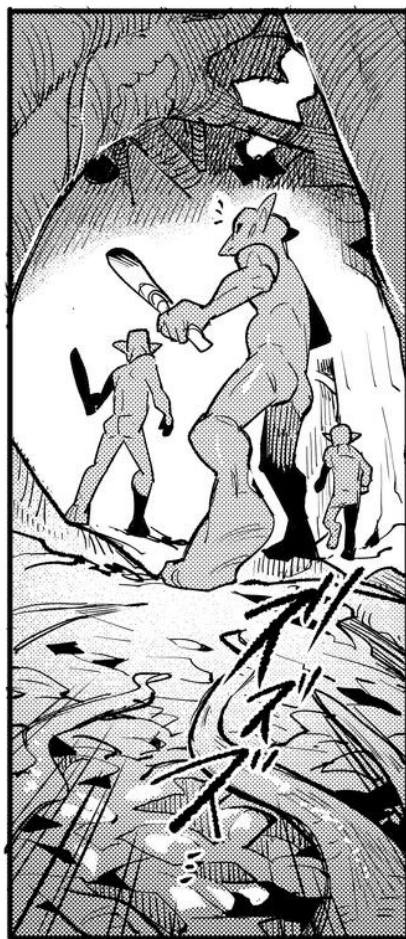
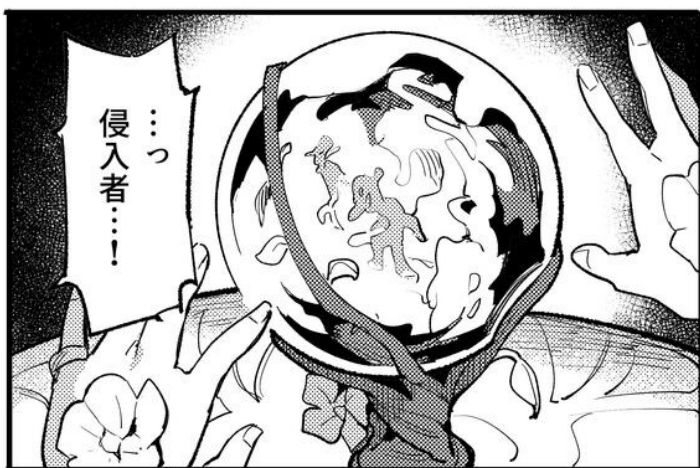
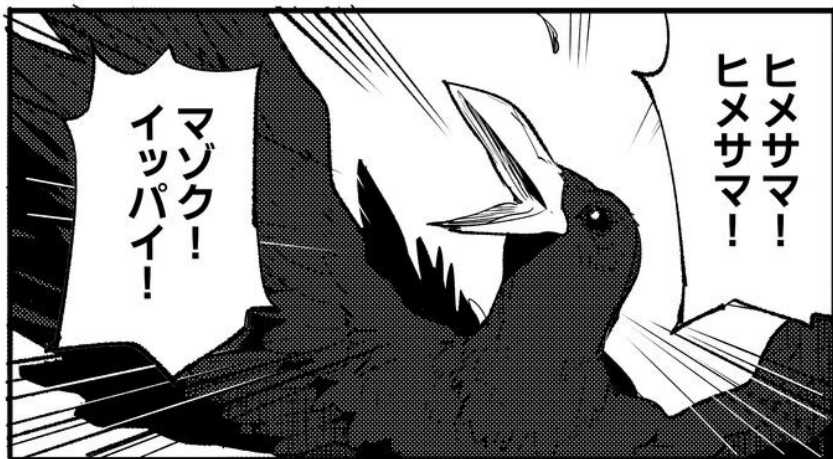
うあああああああ
あああああ♡♡♡

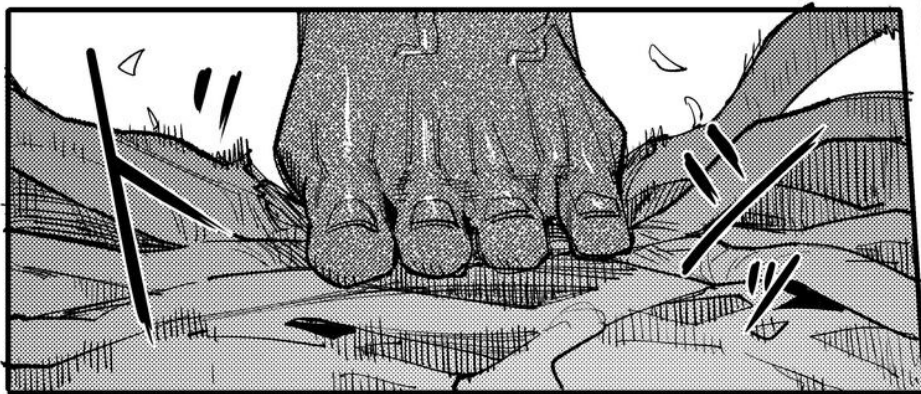
ポ。ポ。

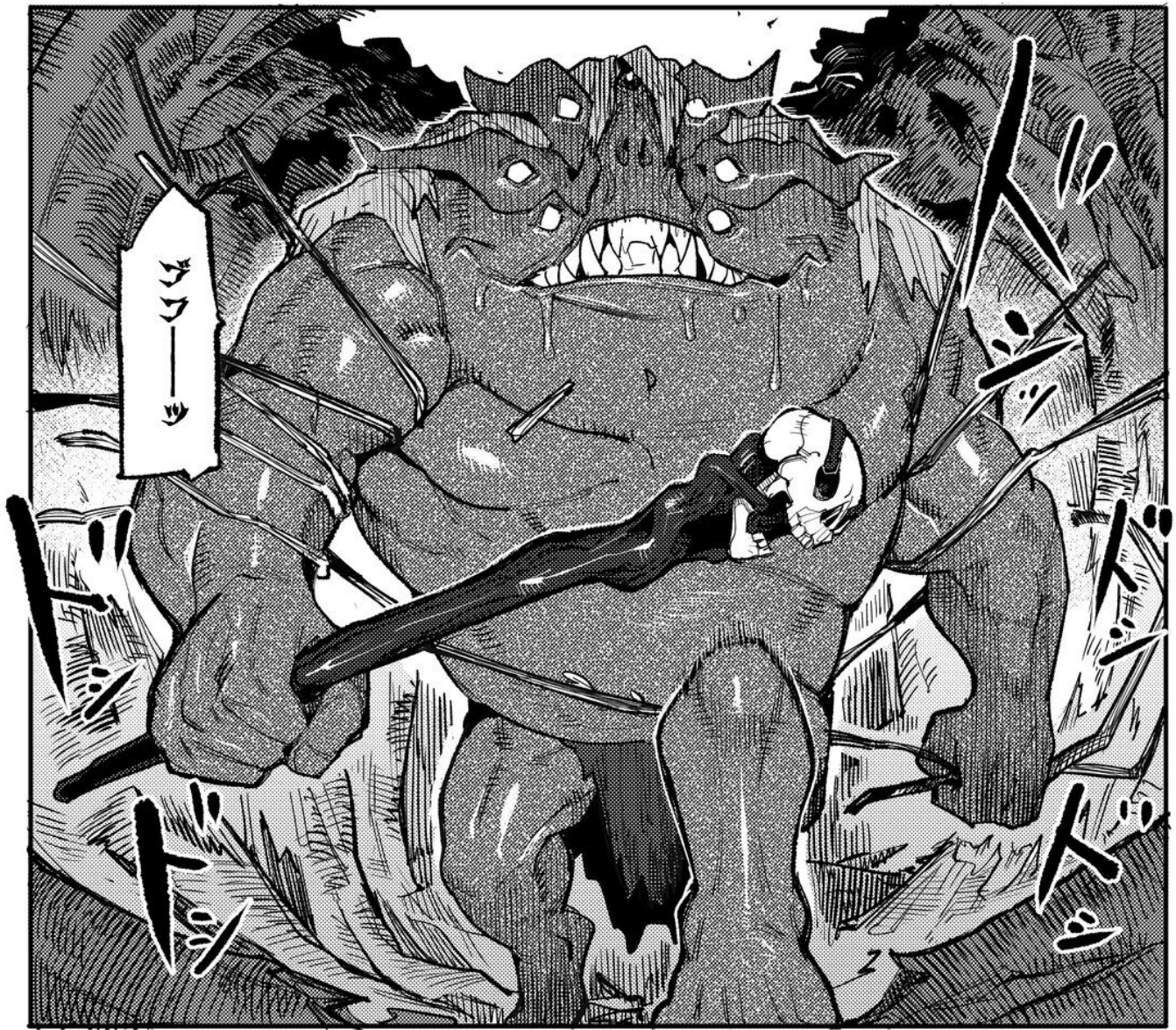
私の体は
墮落し—

肉の子らと
同じように
仔を孕んだ











私と
魔族の仔

わたし
母胎を
迎えに…

私が卵子を作り
私の子宮に宿り

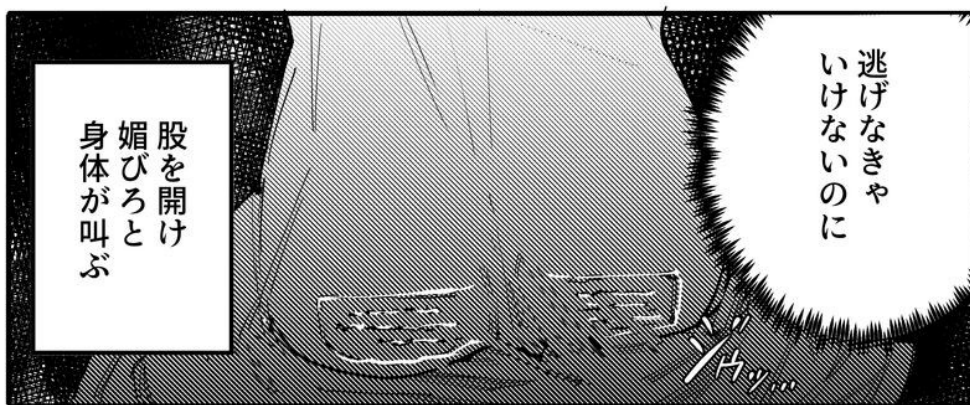
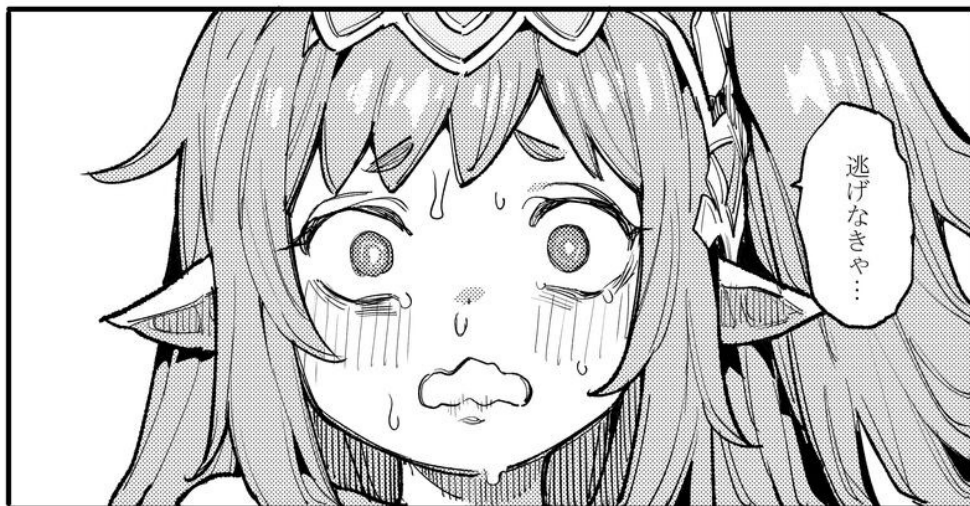
私自身が
魔力を与え
産道で敗北を
認めた

存在しているだけで
私が魔族に犯された
ことを喧伝する
私の恥部そのもの

私が犯され
征服された証

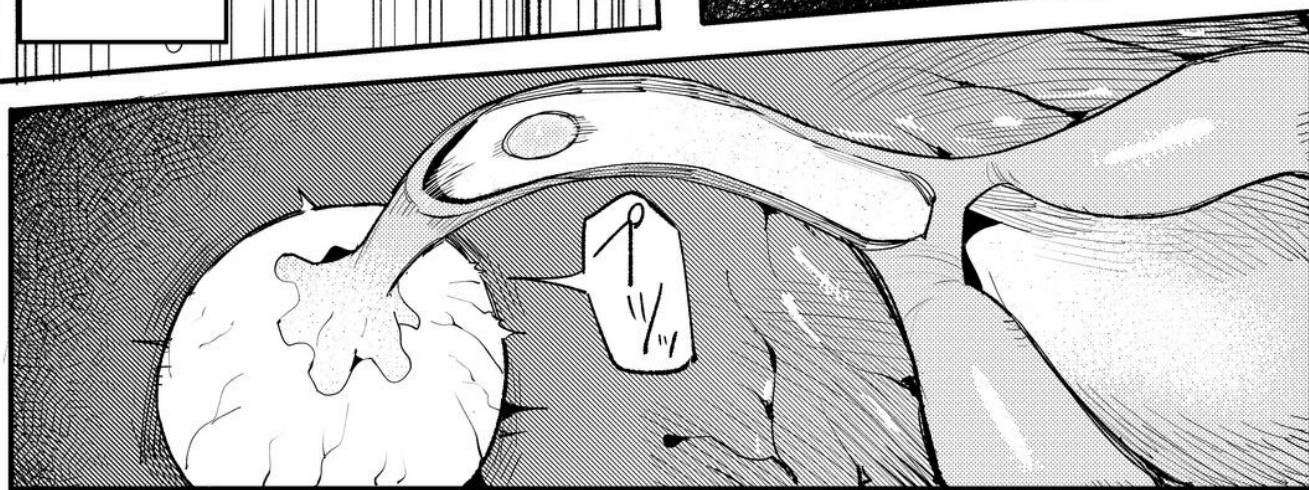
私が
臍の緒で育み
私が膈から
産んだ

女としての機能で
魔族に最大の奉仕を
行った証明









♥♥♥ ああああああ

墜ちたく
ないっ！

ビクンビクン

助っ♥♥♥
助け♥♥♥

うぐっ
♥♥♥

あんな地獄は
もうイヤっ！

うああああっ♥♥♥
あああああっ♥♥♥

イヤなのに
……っ！











私は度重なる
尊厳の陵辱を受け
恐ろしい性的な拷問に
よって敗北した

この胎を
子種を吐き捨てる
便器であることを
認める

暗闇の中
永久に鎖で
繋ぎ止められ

あらゆる男根を
この淫乱な膣穴で
慰める

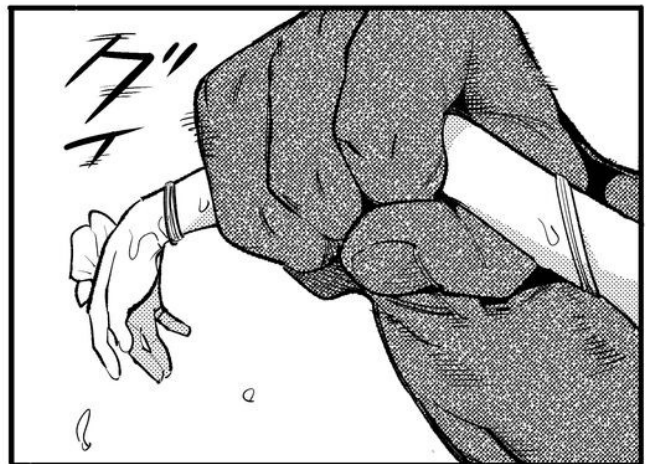
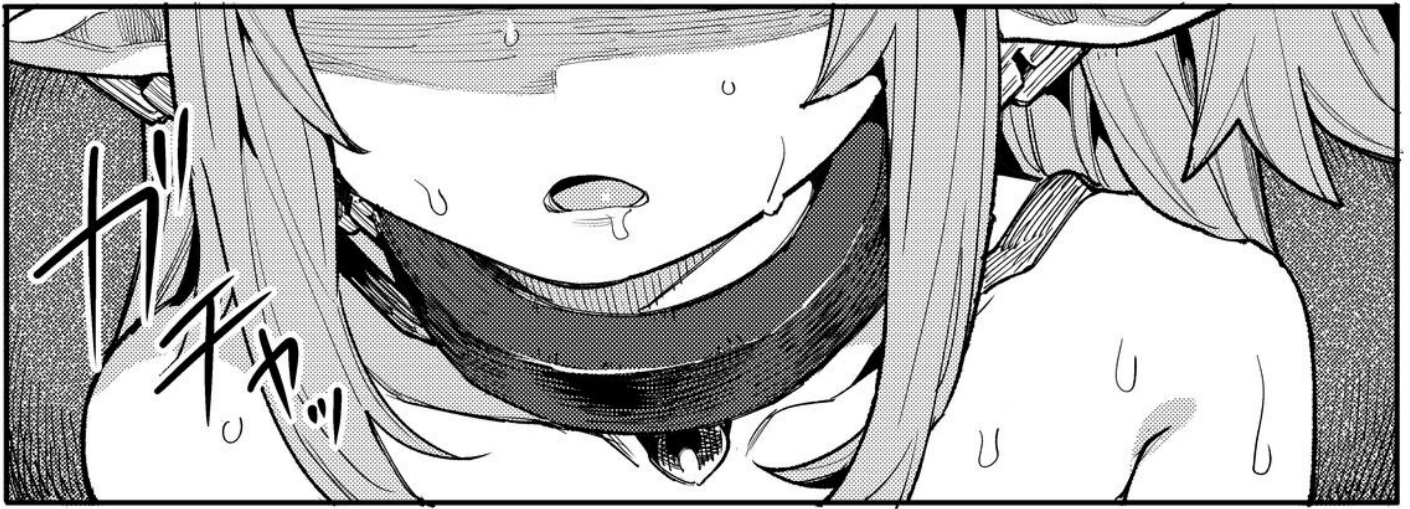
悍ましき闇の
ものどもによって
私の肉は被虐の
悦びに目覚めた

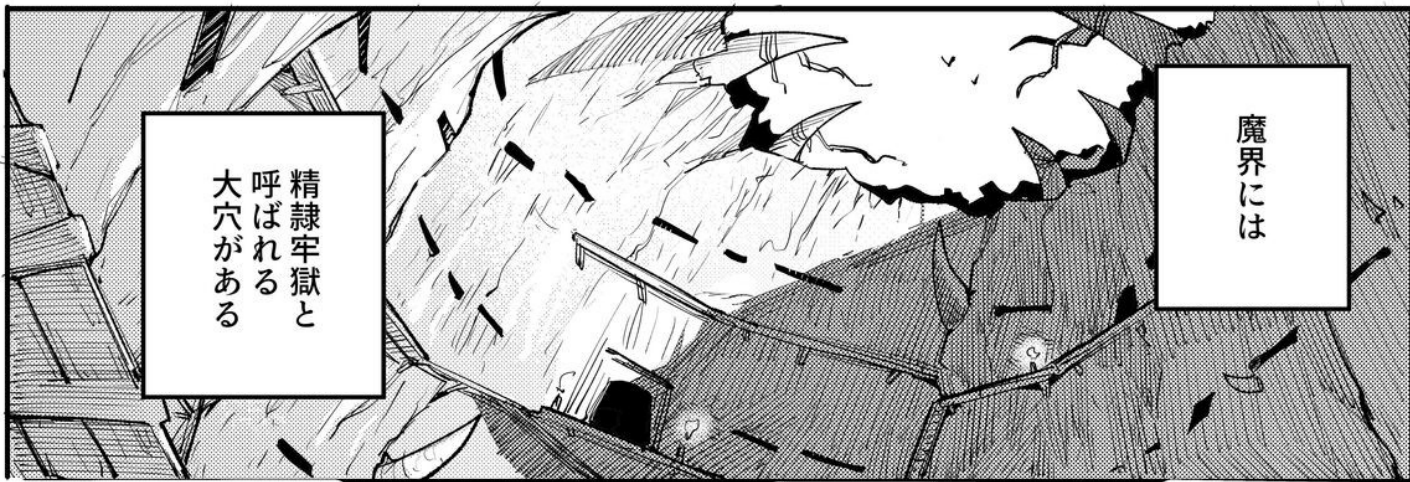
真名にかけ
この屈辱的な
宣言を行う

屈服の証として
この孕み袋を
捧げる

それ以外の
機能を
そぎ落とし

征服者の肉体と
魔力を育み
産道で祝福する





魔界には

精隸牢獄と
呼ばれる
大穴がある



際限なく魔物を
吐き出し続ける
そこは――

牢獄と
いうよりは

工場



ちゅっ
れろ ♡ ♡

♡ ちゅうっ

墮落とは

自分を
男根に
男根に

孕ませ
征服した
男根に

媚びるよう
なること

すん
すん

くっく

ちゅうっ

ちゅうっ

れろ

れろ

酷使された
性器が
恐怖し…

憎悪し
嘆き…

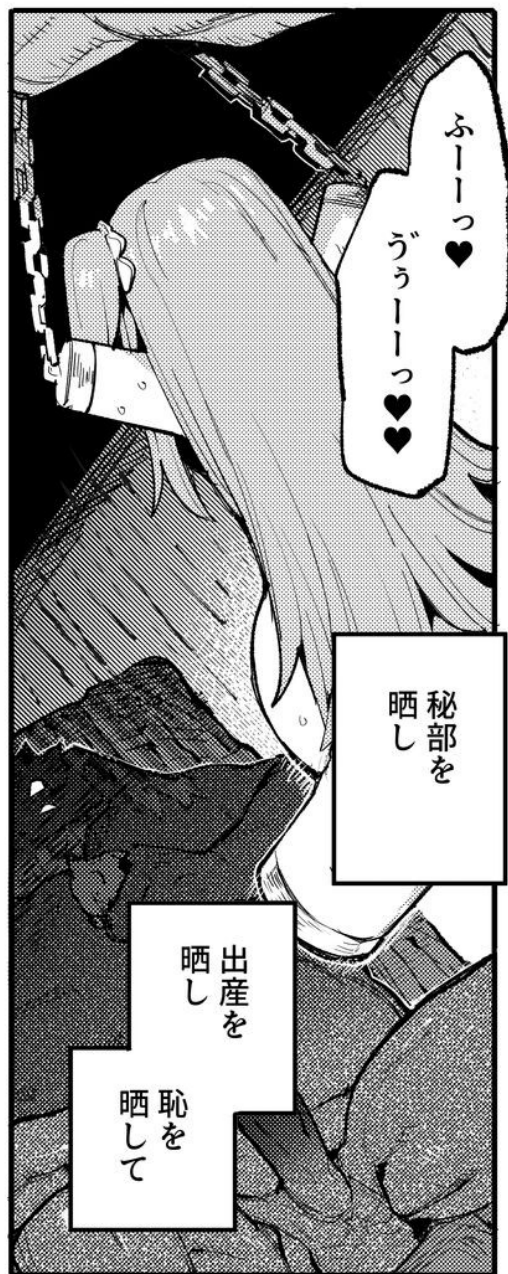
それでも
——
疼く

私はもう
精霊などでは
なく

精を啜り
魔族を産む
……肉畜♥

その
墮落さえも
…熱い♥

もうあの森も
思い出せない





疲弊しきって
やっと…
出産できる♥



カラダが
未成熟で
：

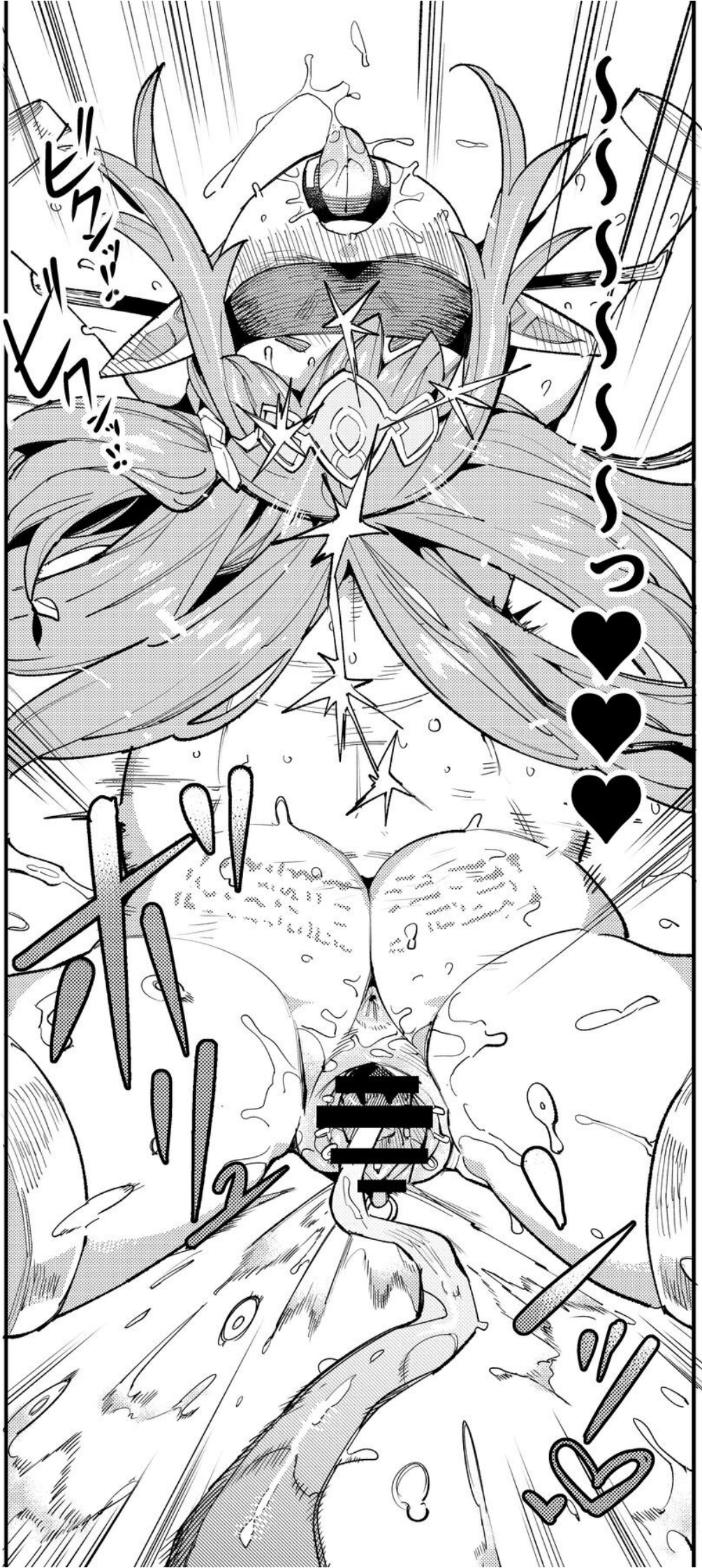
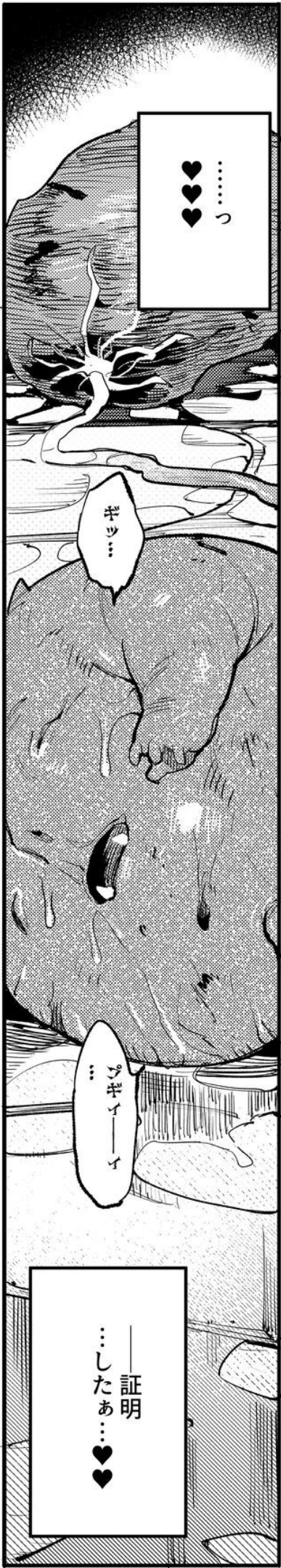
難産…
ばかり♥

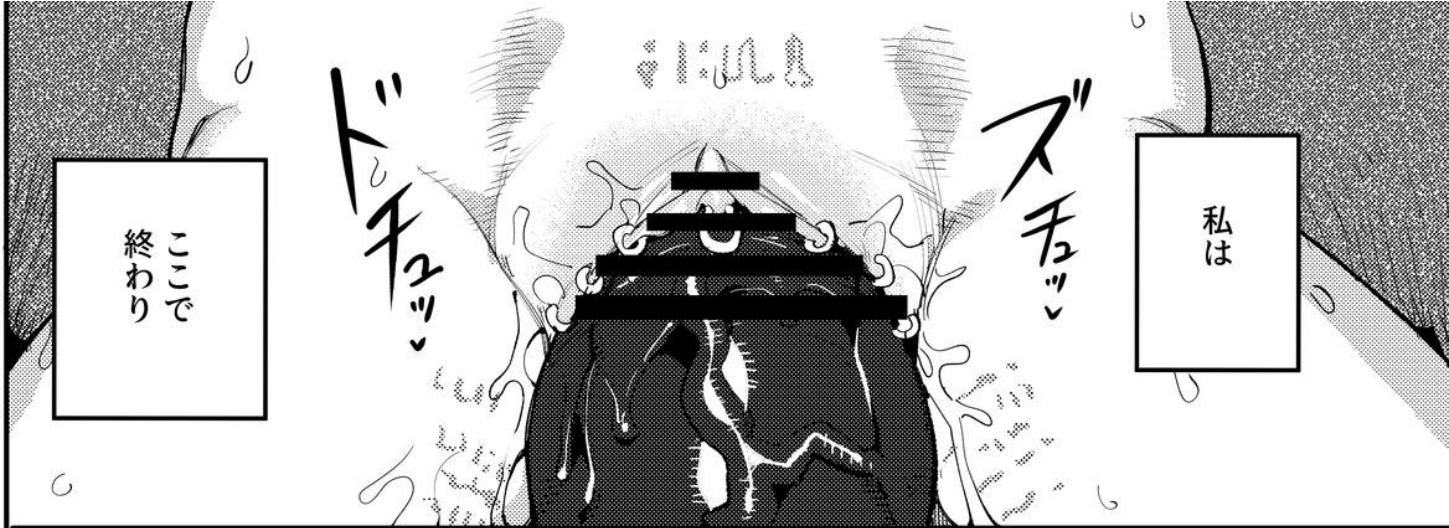


ああ…
また産んで
証明する♥

私が…孕み袋に
頭がついただけの
肉だって♥

はあ
……♥♥♥





ここで
終わり

私は



ここにあるのは
ただ魔物の
男根に尽くす
精液便器

私はこの
暗く深い
穴の底で

森を守る
どころか

穢されきった
子宮の疲弊を
膣穴で叫び
続けるのだろう

大地を魔で
満たすための
出産装置

きっと
永遠に――